

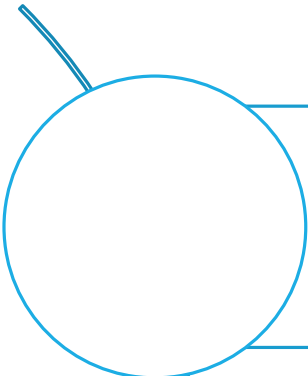
# 資料費確保を目標に掲げた クラウドファンディングプロジェクト への取り組み

筑波大学附属図書館  
クラウドファンディングプロジェクトチーム

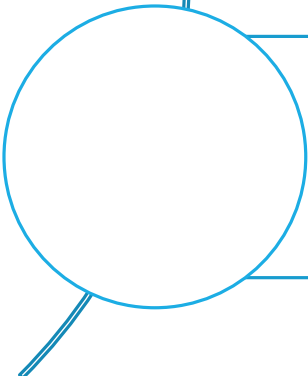
報告：アカデミックサポート課 石津朋之

[funding@tulips.tsukuba.ac.jp](mailto:funding@tulips.tsukuba.ac.jp)

# 本日のねらい



所属機関でクラウドファンディングの実施の是非を検討する際に参考となる情報を提供すること



実際にクラウドファンディングに取り組んで得られた気づき・成果を共有すること

# 本日本話しする内容

クラウドファンディングとは何か

プロジェクトの全体像

取り組んでみて分かったこと

取り組みを通して得られたもの

# クラウドファンディングとは何か

## ① 定義

### クラウド-ファンディング 【crowd funding】

《crowdは、大衆の意》プロジェクトのための資金を調達できない個人・団体が、ソーシャルメディアをはじめインターネット上で企画内容と必要な金額を提示し、広く支援を呼びかける手法。少額の資金提供者を多く集めることによって、目標額の達成をねらうもの。マイクロファンディング。マイクロパトロン。ソーシャルファンディング。CF。

デジタル大辞泉, JapanKnowledge,  
<https://japanknowledge.com> , (参照 2018-06-18)

# クラウドファンディングとは何か

## ② 特徴

### 支援者の 特徴

インターネット、SNSとの親和性が高い

大学のOB、関係者に限らない

少額の寄附に対するハードルが低い

### 寄附金の 使い道

自分たちの裁量で決められる

テーマは支援者に響く内容で設定する

宣言通りに使われたことの報告が必要

# クラウドファンディングとは何か

## ③ 3つの基本型

金融型（投資型）	購入型	寄附型
クラウドファンディング市場の大半を占める。	オリジナルグッズやプロジェクトの成果物、地域の特産品などが返礼品として提供される。	返礼品の提供を必要としない。 芳名掲示やツアーへの招待などがリターンとして提供される。 支援者には税額控除のメリットも。
資産運用などが目的。	プロジェクトの内容だけでなく、返礼品に魅力を感じられるかどうかも支援の決め手。	プロジェクトの内容や実行者の熱意に共感できるかどうか支援の決め手。
大学図書館での実践例はない。	専門図書館やNPO法人による民営の図書館に多い。	大学図書館に多い。

# クラウドファンディングとは何か

## ④ 図書館での事例

### 購入型で実施

- 松竹大谷図書館（公益財団法人）
- 東京藝術大学附属図書館



### 寄附型で実施

- 名古屋大学附属図書館
- 身延山大学図書館
- 筑波大学附属図書館



※ 本発表中の画像はREADYFOR(株)の許諾を得て使用しています

# 筑波大学 – 国立大学では初！ *READYFOR*(株)と業務提携



2017年1月26日



# 業務提携後も多数のプロジェクトを展開

**成立!!**

書物の森で出会う発見のよろこびを。  
未来へ向かう学命の若者たちに  
「研究・学習用の図書を!」

資料費減少で危機。大学図書館に  
本を購入し若者に十分な学ぶ場を

寄附型

筑波大学附属図書館

支援総額 5,124,000円 終了日 3/31

170%

**成立!!**

若き才能を潰させない! 小型MRI  
によるスポーツ検診をめざして。

寄附型

岡本嘉一 (筑波大学医学系放射線科、スポーツ医学系講師)

支援総額 683,000円 残り 37日

97%

**成立!!**

第3弾 国立大学本気の挑戦! 筑波  
大学箱根駅伝復活プロジェクト

寄附型

弘山勉 (TSA 准教授 男子駅伝監督)

支援総額 1,095,000円 残り 26日

43%

**成立!!**

人はなぜ眠る? 最適な睡眠とは?  
「睡眠の謎」に最新の科学で迫る

寄附型

柳沢正史 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構長)

支援総額 3,576,000円 終了日 5/31

119%

**成立!!**

【第2弾】デジタルネイチャー  
「計算機的多様性」の世界へ

寄附型

落合陽一 (筑波大准教授・学長補佐)

支援総額 19,065,000円 終了日 4/27

127%

**成立!!**

国立大学本気の挑戦! 古豪・筑波  
大学箱根駅伝復活プロジェクト

寄附型

弘山勉 (TSA 准教授 男子駅伝監督)

支援総額 2,580,000円 終了日 7/31

129%

**成立!!**

21世紀をコンピュータによる「奴隷  
の世紀」ではなく「魔法の世紀」に

寄附型

落合陽一 (筑波大准教授・学長補佐)

支援総額 9,390,000円 終了日 5/31

117%

**成立!!**

若者に原爆の悲劇を語り継ぐアメ  
リカ人女性を日本に招きたい!

寄附型

「若者に被爆体験を語り継ぐ」プロジェクト

支援総額 3,179,000円 終了日 10/10

105%

**成立!!**

第2弾 国立大学本気の挑戦! 筑波  
大学箱根駅伝復活プロジェクト

寄附型

弘山勉 (TSA 准教授 男子駅伝監督)

支援総額 4,050,000円 終了日 9/8

115%

**成立!!**

学生に武者修行の機会を!  
筑波大学山岳科学学位プログラム

寄附型

津村義彦 (山岳科学学位プログラム-4 大学連携)

支援総額 1,277,000円 終了日 10/10

127%

**成立!!**

行方不明の星たちを探るカギに迷  
に辿り着く。銀河誕生の謎に迫る

寄附型

中井直正 (筑波大学 宇宙観測グループ)

支援総額 12,303,000円 終了日 6/30

123%

# クラウドファンディングとは何か

## ⑤ CF業者とのかかわり

業者から受けられるバックアップ

他のプロジェクトを支援してきた7万人にリーチ

従来とは異なる支援者層に訴えかけるノウハウ

経験則に基づく的確かつスピード感のあるアドバイス

業務提携によるメリット

手数料が割安に（支援金額の17%→15%）

複雑な会計処理を大学財務部に一任できる  
（部署間の情報共有は必須）

# 本日本話しする内容

クラウドファンディングとは何か

プロジェクトの全体像

取り組んでみて分かったこと

取り組みを通して得られたもの

# プロジェクトの全体像

## ① プロジェクトのトップページ

資料費減少で危機。大学図書館に本を購入し若者に十分な学ぶ場を

The screenshot shows a crowdfunding page for a library project. The main image features a black and white photo of students in a library with a text overlay: "成立!! 書物の森で出会う発見のよろこびを。未来へ向かう学舎の若者たちに研究・学習用の図書を！ 筑波大学 University of Tsukuba". To the right, the project details are listed: "筑波大学附属図書館" (Tsukuba University Affiliated Library), "寄附総額 5,124,000円", "目標金額 3,000,000円", "寄附者数 307人", and "残り日数 終了しました". A red-bordered box at the bottom right contains the text: "プロジェクトが成立しました！ このプロジェクトは 2017年3月31日(金)23:00 に成立しました。". At the bottom of the page, there are social media sharing options (Like, Share, Tweet, Bookmark) and a summary section with "プロジェクト概要", "新着情報 16 New", and "応援コメント 307".

築波国 社会にいいこと 子ども・教育 本・漫画・写真 寄附型

**成立!!**

書物の森で出会う発見のよろこびを。  
未来へ向かう学舎の若者たちに  
研究・学習用の図書を！

筑波大学  
University of Tsukuba

筑波大学附属図書館

寄附総額 5,124,000円

達成 目標金額 3,000,000円

寄附者数 307人

残り日数 終了しました

寄附型 All or Nothing

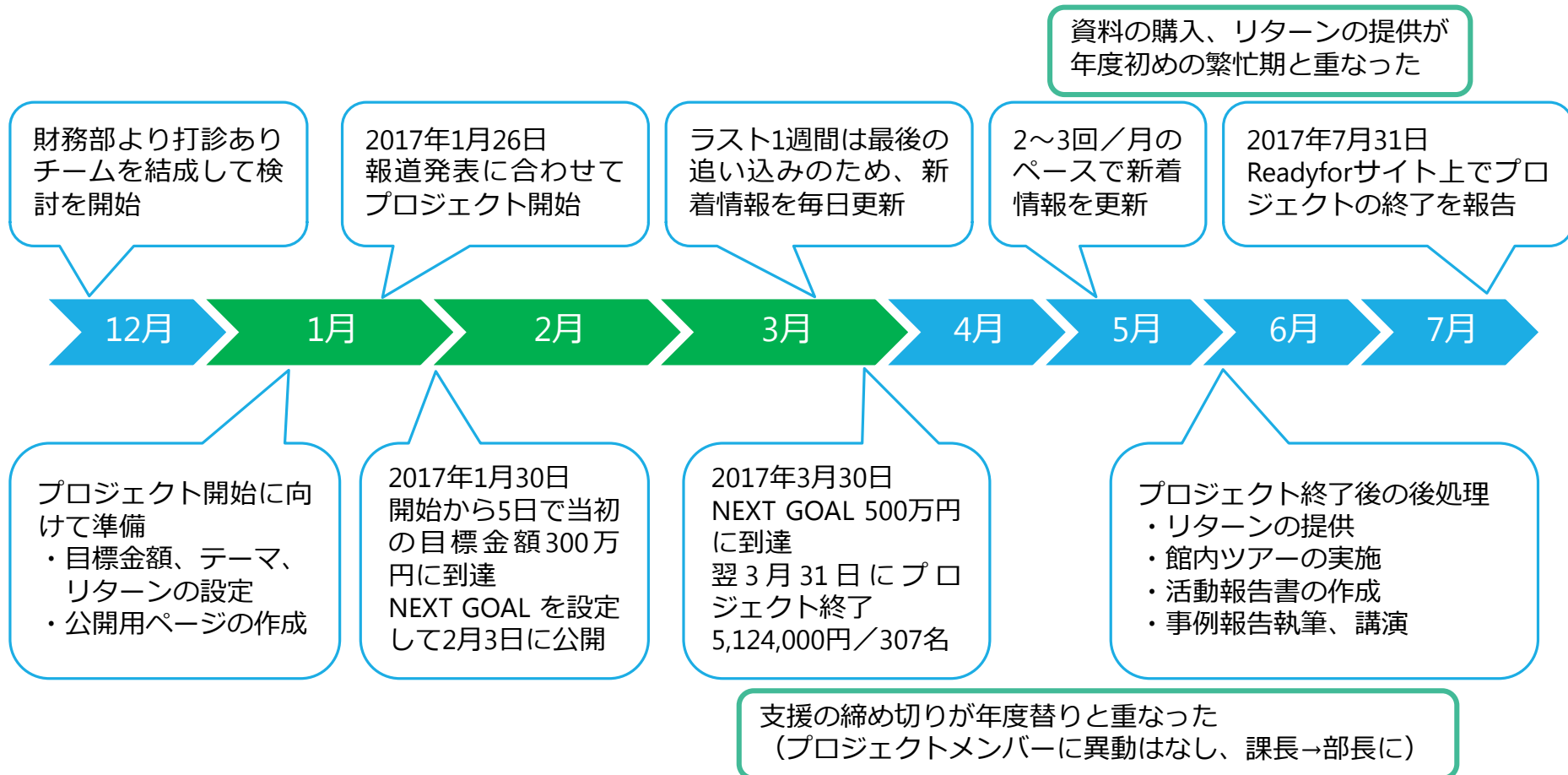
**プロジェクトが成立しました！**  
このプロジェクトは  
2017年3月31日(金)23:00 に成立しました。

いいね! 3,250 シェア ツイート B! ブックマーク 137

プロジェクト概要 新着情報 16 New 応援コメント 307

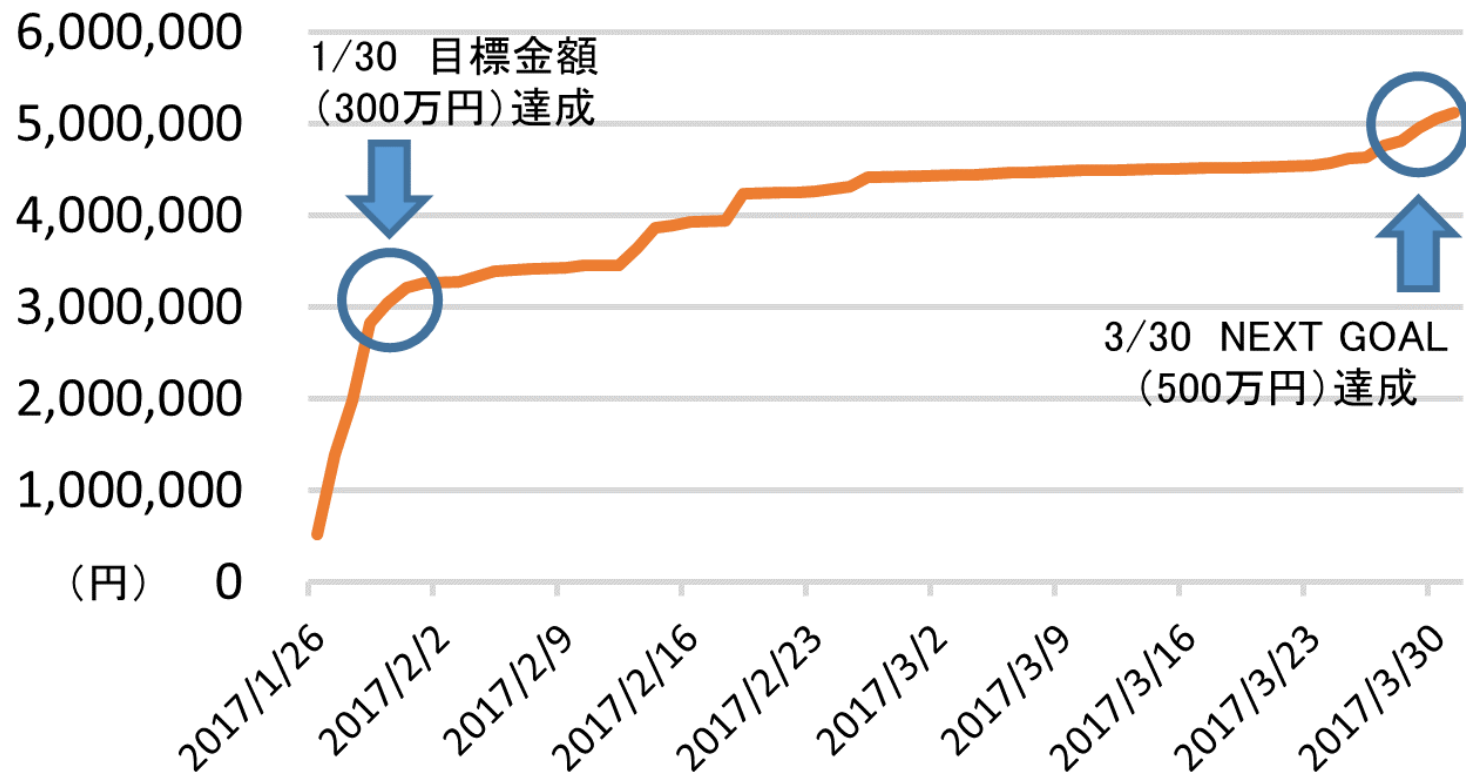
# プロジェクトの全体像

## ② ロードマップ（検討開始～終了報告）



# プロジェクトの全体像

## ③ 支援金額の推移



# プロジェクトの全体像

## ④ 最終的な成果

### 配分額

- 寄附 5,124,000円
  - 手数料 830,088円  
(16.2%をREADYFOR株式会社へ)
  - 共通経費 512,400円  
(10%を全学共通経費へ)
- 
- 差引後 3,781,512円

### 購入資料

- 図書 428冊
- 雑誌 66タイトル



購入資料に貼り付けたシール

# プロジェクトの全体像

## ⑤ 達成後の諸々（資料購入、リターン）



ご寄附により購入した資料



芳名掲示（中央図書館）



購入した資料の館内展示



館内ツアー・貴重書内覧会



# 本日本話しする内容

クラウドファンディングとは何か

プロジェクトの全体像

取り組んでみて分かったこと

取り組みを通して得られたもの

# 本日本話しする内容

## 取り組んでみて分かったこと

- 実施体制
- テーマの設定
- 目標金額の設定
- 広報の展開
- リターンの設定と提供
- 支援者への配慮

# 実施体制

## ① メンバー構成

半数以上が入職5年目  
以内の若手

GOOD

モチベーションの共有  
SNS等での情報発信

資料受入業務の経験者  
が不在

BAD

プロジェクト実行時の  
資料購入の連絡

会議報告や決裁の手續  
きに不慣れ

BAD

リターン提供時の関係  
係・部署との調整

課長が途中で部長に  
→ 超多忙に

BAD

意思決定者の不在  
→ 作業・対応の遅れ



# 実施体制

## ② まとめ

### MUST

- 定期的にまとまった量の文章を書ける
- 支援者からのコメントに迅速に返信できる

### BETTER

- 全体の進捗を把握している人がいる
- 会議等での報告や起案ができる立場の人がいる

### OTHERS

- 必要に応じて担当の係・部署を巻き込める
- Twitter, Facebookなどを素早く更新できる

# テーマの設定

## ① プロジェクトのトップページ

**資料費減少で危機。大学図書館に本を購入し若者に十分な学ぶ場を**

The screenshot shows a crowdfunding page for the University of Tsukuba library project. The main image features a black and white photo of students in a library with the text: "成立!! 書物の森で出会う発見のよろこびを。未来へ向かう学舎の若者たちに研究・学習用の図書を！" and the University of Tsukuba logo. To the right, the project details are listed: "筑波大学附属図書館" (University of Tsukuba Affiliated Library), "寄附総額 5,124,000円", "達成 目標金額 3,000,000円", "寄附者数 307人", and "残り日数 終了しました". A red-bordered box at the bottom right contains the message: "プロジェクトが成立しました！ このプロジェクトは 2017年3月31日(金)23:00 に成立しました。". At the bottom, there are social media sharing options (Like, Tweet, Bookmark) and a summary section with "プロジェクト概要", "新着情報 16 New", and "応援コメント 307".

成立!!

書物の森で出会う発見のよろこびを。  
未来へ向かう学舎の若者たちに  
研究・学習用の図書を！

筑波大学  
University of Tsukuba

筑波大学附属図書館

寄附総額 5,124,000円

達成 目標金額 3,000,000円

寄附者数 307人

残り日数 終了しました

寄附型 All or Nothing

**プロジェクトが成立しました！**  
このプロジェクトは  
2017年3月31日(金)23:00 に成立しました。

いいね! 3,250 シェア ツイート B!ブックマーク 137

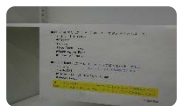
プロジェクト概要 新着情報 16 New 応援コメント 307

# テーマの設定

## ② 可能性の洗い出し



書架の狭隘化



雑誌・新聞の購入中止



電子ジャーナルの整備



ラーニング・コモンスの  
整備・拡張



1964東京オリンピック関係資料の整備



狩野探幽・尚信屏風絵等  
貴重資料の修復

お金が必要な課題は他にも  
たくさんある

けれど

CFは支援者と一緒に実現するもの

だから

多くの人が必要性に共感して  
くれるテーマ設定を

# テーマの設定

## ③ 実行するテーマの絞り込み

私が若い頃は、学生は  
たくさん本を読んでいた

今はお金もなくて新しい本を  
買ってあげられない



現状をストレートに伝えてみ  
ては？

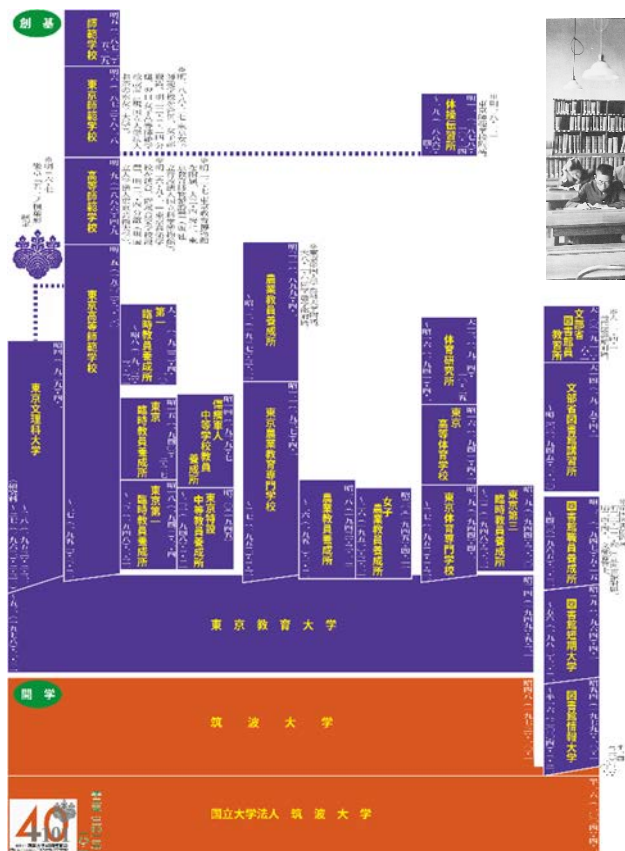
義憤を感じて、支援しようと  
思ってもらえるかも

多くの方が身近に感じてくれて、共感できるテーマは何だろう？

“自分がなんとかしなくては！”と共感してもらうことが大事

# テーマの設定

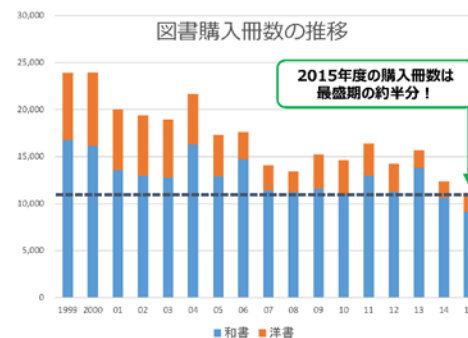
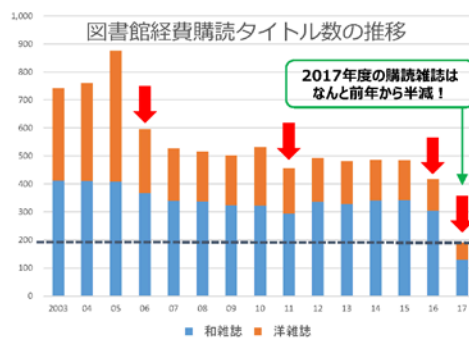
## ④ 背景資料・データの収集



支援者の中には前身校の関係者も、筑波大学のことを全く知らない人もいるはず

過去と現在を説明できるように資料とデータをしっかり集める

筑波大学附属図書館では図書購入・雑誌購読タイトル数が年々減少している



↓ = 購入タイトル見直し  
(予算削減、雑誌価格上昇等の理由による)



# テーマの設定

## ⑤ まとめ

### MUST

- 支援者に必要性が伝わり、“自分がなんとかしなくては！”と共感してもらえる魅力的なテーマを

### BETTER

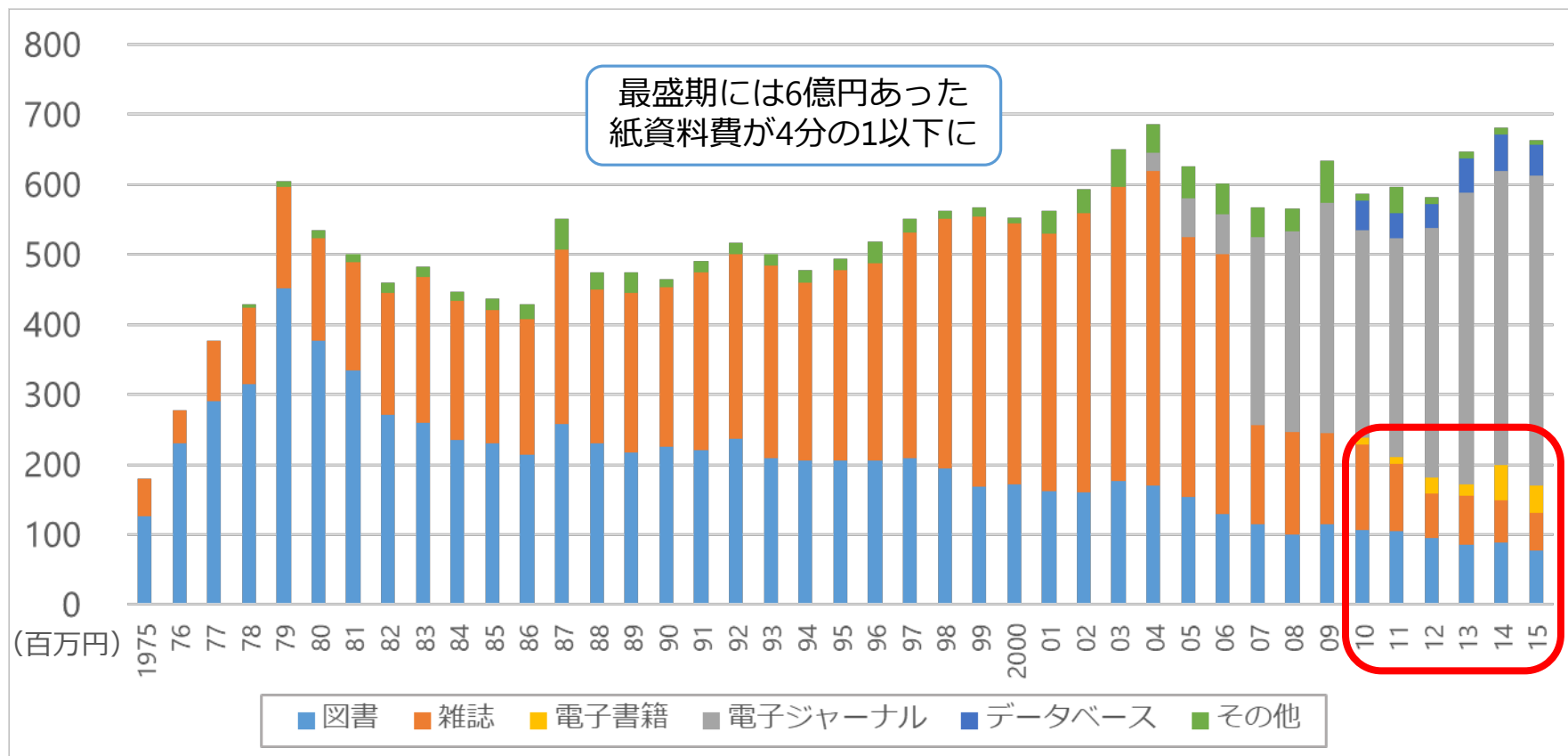
- 資料やデータをしっかり集めて、興味を持ってくれた人に必要性がストレートに伝わるように

### OTHERS

- チャンスが来たときのためにアイデアは常にストックしておく

# 目標金額の設定

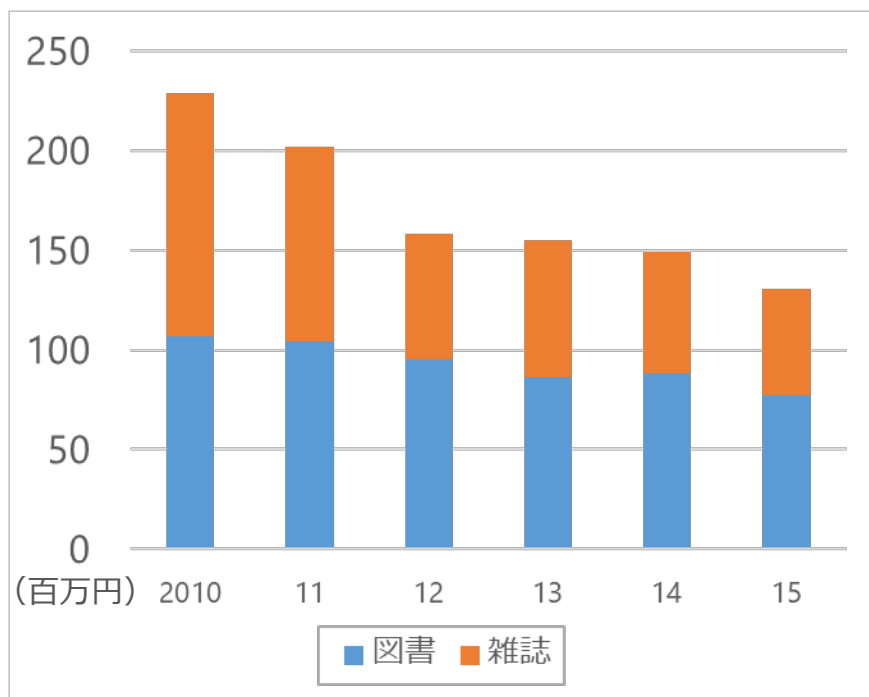
## ① 図書館資料費の推移



# 目標金額の設定

## ② チーム内での検討

直近6年間の紙資料費



年平均で約1,900万円の減額

クラウドファンディング  
だけではとても足りない

現状を知ってもらう  
契機にはなるはず

テーマに沿って  
購入対象を絞り込む

いくらなら成功する？  
先行事例を見てみよう



プロジェクトチーム

# 目標金額の設定

## ③ READYFORからのアドバイス

前例プロジェクトでの目標金額

READYFORからのアドバイス



図書館でのプロジェクトは  
成功率が高い

大学でのプロジェクトは  
高額でも賛同してくれる

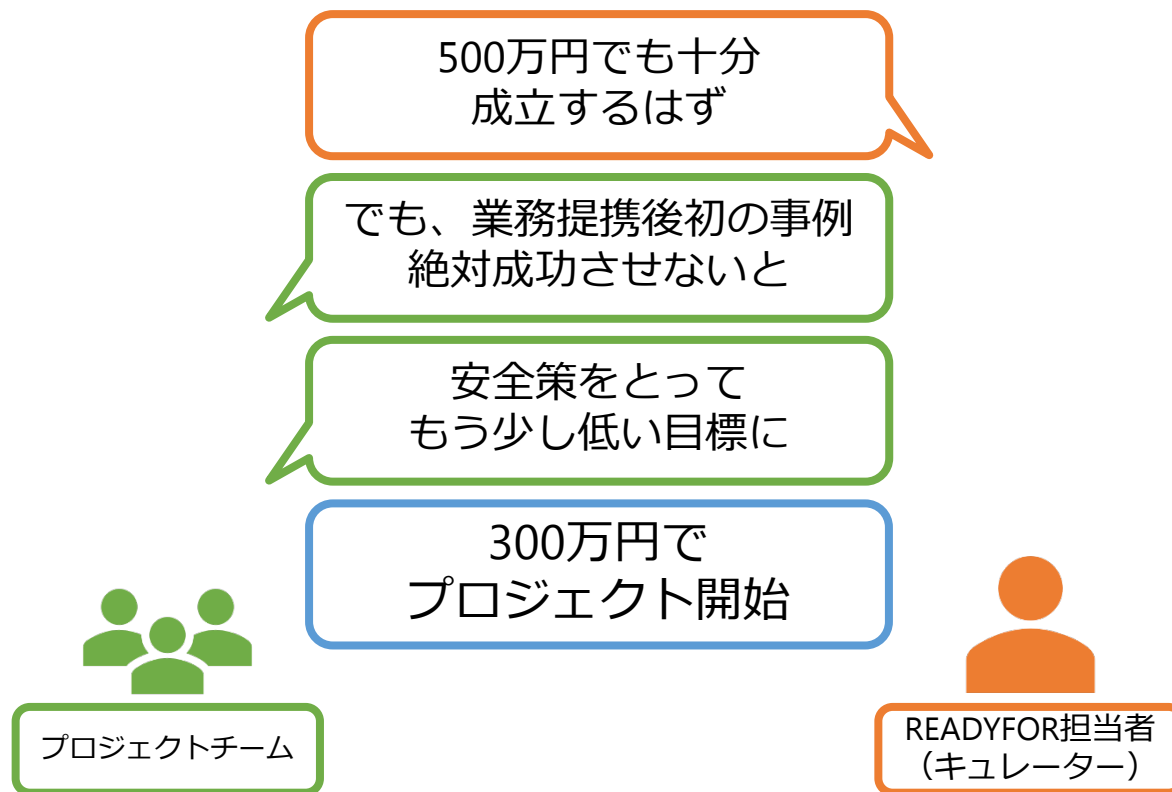
大学図書館にはもっと  
ポテンシャルがあるはず

提案は500万円

READYFOR担当者  
(キュレーター)

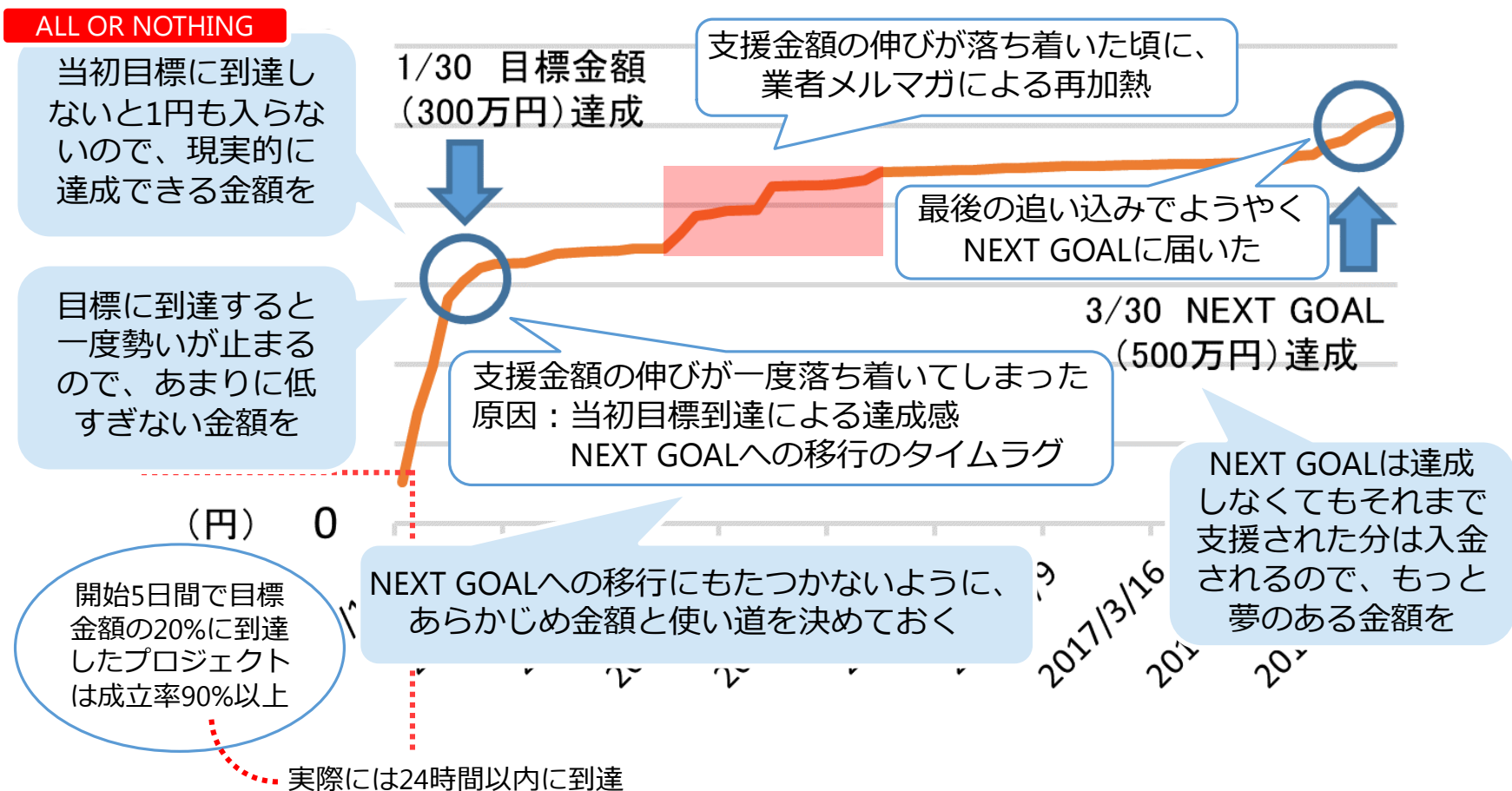
# 目標金額の設定

## ④ 実施前の最終調整



# 目標金額の設定

## ⑤ 支援金額の推移



# 目標金額の設定

## ⑥ まとめ

### FIRST GOAL

#### ALL OR NOTHING

- 目標に到達すると一度勢いが止まる
- 現実的に達成でき、低すぎない金額を

### NEXT GOAL

#### 達成しなくても入金

- すぐに移行できるように金額と使い道を決めておく
- 達成可能でなくても、夢のある金額を

### OTHERS

- 開始5日間で目標金額の20%に到達したプロジェクトは成立率90%以上

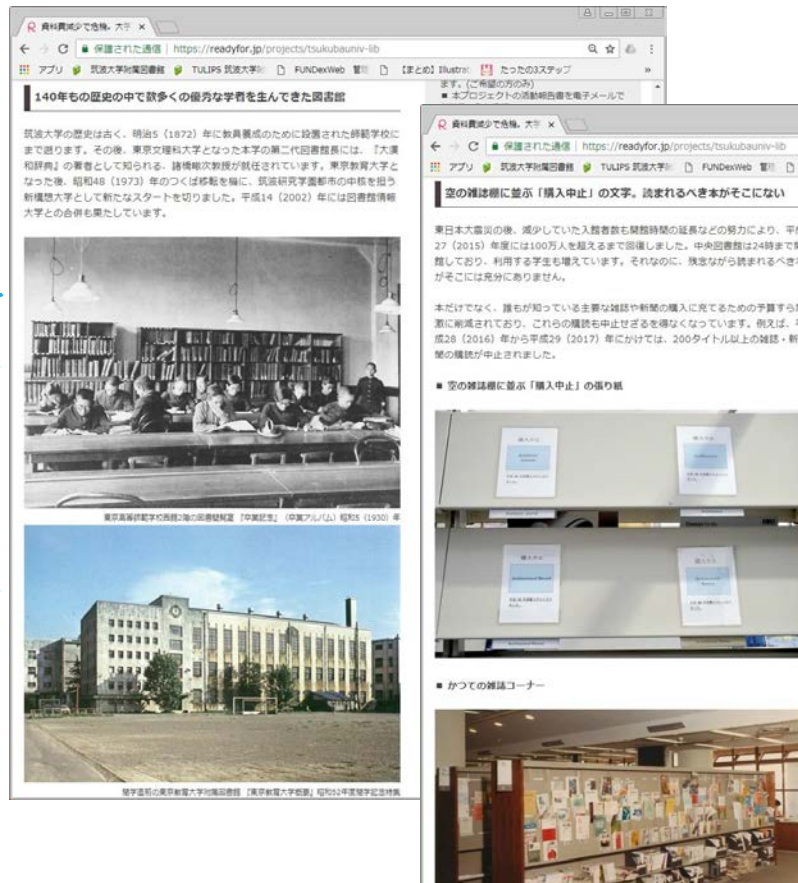
# 広報の展開

## ① プロジェクトページの作成

最初に取りかかるのは  
プロジェクトページの作成

材料となる文章や写真を  
Readyforの担当者に提出

レイアウトを組んで、  
案を作成してくれる



効果的な文章やキャッチコピー、興味を引く写真をアドバイスしてくれる



# 広報の展開

## ② 新着情報の更新

ブログ形式の  
新着情報

※ 次ページで、プレビューができます。  
新着情報に表示したい内容を入力してください

編集機能がリニューアルしました。マニュアルのダウンロードは [こちら](#)

タイトル

本文

文字数: 0/10000

10000文字以内  
画像のファイル名に全角文字(日本語等)があるとアップロード出来ない事があります

確認画面へ

一時保存

プロジェクト実行中は1週間に1回、終了直前の1週間は毎日、終了後も7月のプロジェクト終了報告までは、月に2回のペースで更新

2017年04月03日  
**プロジェクト終了。皆様ありがとうございました！！**  
筑波大学附属図書館クラウドファンディングプロジェクトチームです。皆様のおかげで支援のおかげをもちまして、本プロジェクトはNext Goalの目標であった500万円を達成し、無事に終了いたしました。本当にありがとうございました。プロジェクト開始時は第一目標の300万...  
[続きを見る](#)

2017年03月31日  
**プロジェクト最終日、「NEXT GOAL」を達成しました！**  
ご支援をいただいた皆様、本当にありがとうございます。第一目標に引き続き、NEXT GOALの目標も達成することができました。プロジェクトメンバーを始め、附属図書館職員全員が感謝の気持ちで一杯です。この感謝の気持ちは、どうすればお伝えすることができるのでしょうか？...  
[続きを見る](#)

2017年03月30日  
**プロジェクト終了まであと2日**  
筑波大学附属図書館クラウドファンディングプロジェクトチームの穴和田申します。プロジェクトの終了まで残り2日、ご支援くださった皆様、ご熱心をお持ちくださった皆様により感謝申し上げます。現在の私の主な業務は電子ジャーナル、データベースの契約と管理です。図書館の予算を圧迫...  
[続きを見る](#)

2017年03月29日  
**プロジェクト終了まであと3日**  
筑波大学附属図書館クラウドファンディングプロジェクトチームの石津と申します。プロジェクト終了まであと3日、カウントダウンもいよいよ大詰めです。私が現在担当する「企画渉外」の業務は、図書館の内側と外側とをつなげるお仕事です。学内に向けては展示・イベントの申し込み窓口や普及...  
[続きを見る](#)

2017年03月28日  
**プロジェクト終了まであと4日**  
筑波大学附属図書館クラウドファンディングプロジェクトチームの地野と申します。今回のプロジェクトも終了までいよいよあと4日です。本日もたくさんの方からご支援を頂いております。職員一同心より感謝申し上げます。さて、私が現在の主担当としていいるのは、図書館におけるレファレンス業務で...  
[続きを見る](#)

2017年03月27日  
**プロジェクト終了まであと5日**  
筑波大学附属図書館クラウドファンディングプロジェクトチームの中原と申します。早いもので、今回のプロジェクトの終了まで残り5日、たくさんの方からのご支援を心より感謝申し上げます。今回が種の機会をいただきましたので、プロジェクトに携わった裏方である私について、備忘ながらご紹介...  
[続きを見る](#)

2017年03月24日  
**プロジェクト終了まであと6日**

# 広報の展開

## ③ SNSでの拡散

インターネット上で寄附を募るサービスなので、クラウドファンディングはSNSとの親和性が高い

開始翌日にはどこかの誰かによって、Twitterのつぶやきをまとめたサイトが立ち上げられていた

The image shows a screenshot of a crowdfunding project page on the 'together' platform. The project title is '筑波大学附属図書館のクラウドファンディングサービス ReadyForによる資料購入費募集とその反響' (Tsukuba University Affiliated Library Cloud Crowdfunding Service ReadyFor for Material Purchase Fee Collection and Its Reaction). The page indicates the project has ended and provides a link to the project page. Below the page, a Twitter thread is visible, showing various user reactions to the crowdfunding effort. Some users express support, while others discuss the challenges of the library's situation.

SNS上の反響には賛否両方あり

今回のプロジェクトで大学図書館の現状を初めて知ったという声も

# 広報の展開

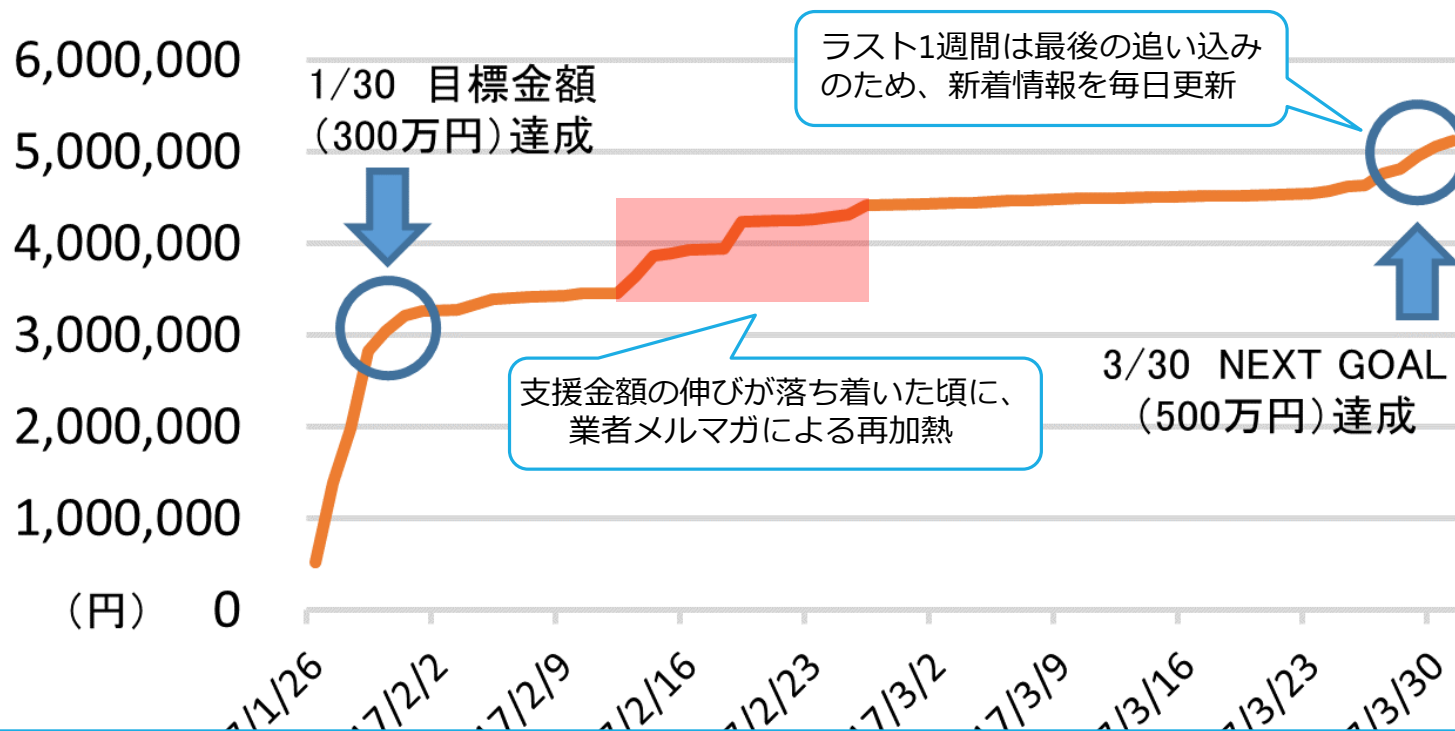
## ④ 新聞等への掲載（学内連携）

学内外のメディアに掲載されたクラウドファンディングプロジェクトに関する記事					
日付	掲載元	メディア	掲載内容		
2017.1.29	毎日新聞	新聞	筑波大がクラウドファンディング会社と提携 第1弾 図書館資料購入費	朝刊28面（茨城）	
2017.1.30	日経産業新聞	新聞	筑波大、ネット資金調達 図書館資料費 運営企業と提携	朝刊27面（その他）	
2017.2.1	朝日新聞	新聞	筑波大、クラウドファンディング活用 第一弾は図書館の資料購入	朝刊24面（茨城）	
2017.2.4	東京新聞	新聞	筑波大 ネットで寄付集め 国立大初 クラウドファンディング会社と提携 第1弾は図書など購入	朝刊18面（茨城）	
2017.2.4	茨城新聞	新聞	図書購入費ネットで募る 価格高騰、予算圧迫 筑波大、6日間で目標達成	朝刊21面（社会）	
2017.2.4	産経新聞	新聞	クラウドファンディング会社と業務提携 筑波大、国立大で初	朝刊23面（茨城）	
2017.4.7	筑波大学新聞	新聞	図書館でクラウドファンディング 館内資料の購入資金 集める	2面（学内総合）	
2017.8.4	朝日新聞	新聞	資金難の国立大学 CF頼み	朝刊34面（教育）	
2017.10.2	筑波大学新聞	新聞	図書館の苦悩 電子ジャーナルの価格高騰	6,7面（特集）	

広報関係部署と協力して積極的にプレスリリースを  
クラウドファンディングに馴染みがない層にもアピールできる

# 広報の展開

## ⑤ 広報のタイミング



支援者の熱が冷めないように新着情報、メールマガジンを活用

業者の協力で、他のプロジェクトを支援している支援者にもリーチできる

# 広報の展開

## ⑥ まとめ

### MUST

- 支援者の熱が冷めないように、新着情報、SNSは当番を決めて頻繁に更新する。炎上にも要注意！

### BETTER

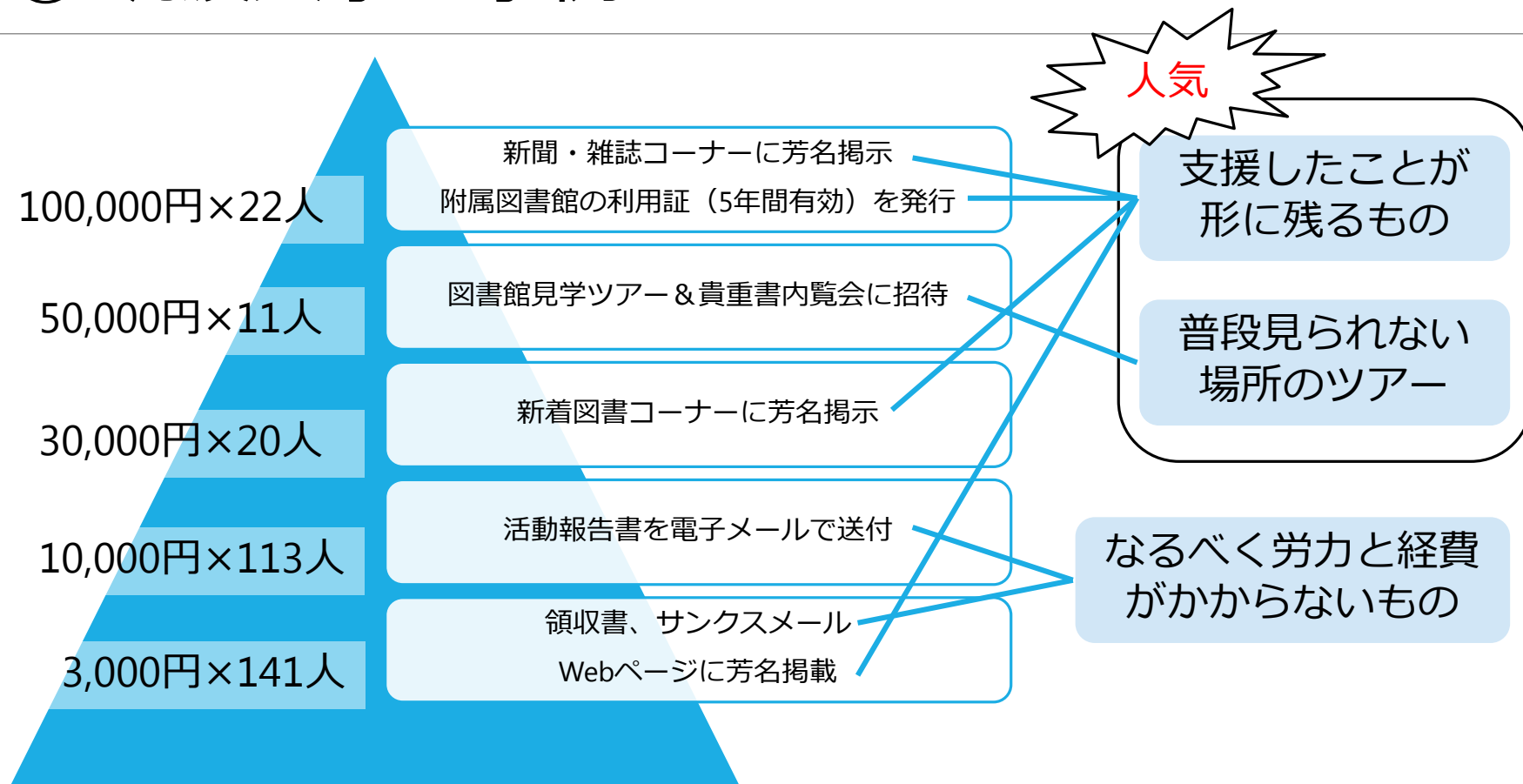
- 支援者が最初に見るプロジェクトページで熱意が伝わるように、業者のノウハウをフル活用

### OTHERS

- 業者の協力で、他のプロジェクトの支援者にもリーチ
- 広報関係部署と協力して積極的にプレスリリースを

# リターンの設定と提供

## ① 筑波大学の事例



# リターンの設定と提供

## ② まとめ

### MUST

- 関係者にはいつまでに何が必要か具体的に伝えておく
- 支援金額が確定してからリターンの準備をしても遅い

### BETTER

- 案内は曖昧にせず、細かい部分まで明示する
- 問い合わせには、こめられた期待に一層の心配りを

### OTHERS

- リターンにはなるべく労力と経費がかからないように
- 形に残ったり裏側を見られるリターンは人気が高い

# 支援者への配慮

## ① 応援コメント

The screenshot shows a crowdfunding interface with the following elements:

- Navigation tabs: プロジェクト概要 (Project Overview), 新着情報 28 (New Information 28), 応援コメント 307 (Support Comments 307), 終了報告 (Final Report).
- Supporter comments (dated 17/01/27):
  - Comment 1: "さん 頑張ってください!" (Supporter: Please keep going!). Includes a "応援コメントに返信する..." (Reply to support comment...) button.
  - Comment 2: "さん 昔、お世話になりました。少しばかりですが、卒業生としてお返しします。" (Supporter: I was helped in the past. A little bit, but as a graduate, I want to repay you).
  - Comment 3: "さん つくばを離れても筑波大学附属図書館を応援しています。" (Supporter: Even after leaving Tsukuba, I support the University of Tsukuba Library).
  - Comment 4: "さん 頑張ってください!" (Supporter: Please keep going!). Includes a "応援コメントに返信する..." button.
  - Comment 5: "さん 図書館にはいつもお世話になっております。出来る限りプロジェクトの宣伝を致しますので、どうか成功させてください。" (Supporter: We always rely on the library. We will do our best to promote the project, so please let it succeed).
- Project Summary (クラウドファンディングとは ▶):
  - 39人がお気に入りしています (39 people have favorited).
  - お気に入りに追加する (Add to favorites) button.
  - お気に入りリストに追加され、新着情報を受け取れます (Added to favorites list, you will receive new information).
  - Project Title: 【3,000円】筑波大学附属図書館の活動を応援する (Support the activities of the University of Tsukuba Library for 3,000 yen).
  - Amount: ¥3,000.
  - Benefits:
    - 領収書 (Receipt)
    - 図書館から感謝の気持ちをこめてサンクスメールをお送りいたします。 (We will send you a thank-you email from the library with sincere gratitude.)
    - 附属図書館Webサイトにご芳名を掲載いたします。(ご希望の方のみ) (We will publish your name on the library's website. (Optional))
  - 141人が寄附中/在庫制限無し (141 people are participating / no stock limit).
  - 2017年7月中旬に発送予定です。 (Shipping is scheduled for mid-July 2017).

支援と同時に支援者から応援コメントが届く

応援コメントには個別に返信が可能



# 支援者への配慮

## ① 応援コメント

○○様

この度は、筑波大学附属図書館をご支援いただきありがとうございます。  
す。

附属図書館でアルバイトもされていたとのこと、温かい応援のお言葉  
にも重ねて感謝申し上げます。・・・

筑波大学附属図書館の皆さま

早々にメッセージをくださり、ありがとうございます。

同窓生、サークルの仲間たちも本プロジェクトに参加しつつあり、彼  
らの友人たちにも広まっていると聞いています。支援も順調に進んで

応援コメントにはすぐに返信。さっそく支援者からメッセージが

# 支援者への配慮

## ① 応援コメント

今年だけでなく、来年以降も必要になるようでしたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。  
皆さまの取り組みに感謝しつつ。

〇〇

〇〇様

お返事いただき、ありがとうございます。〇〇様をはじめ、皆様の温かいご支援のおかげで本日プロジェクトが成立いたしました。  
応援のコメントからわかる範囲だけでも、非常に多くの卒業生の方にご支援をいただいております、本当に有難く感じております。

応援コメントにはすぐに返信。さっそく支援者からメッセージが  
いただいたメッセージの内容に合わせて、ひとつひとつ返信

# 支援者への配慮

## ② 新着情報への掲載

プロジェクト概要   新着情報 **28**   応援コメント **307**   終了報告

[+ 新着情報管理画面へ](#)

新しい新着情報へ以前の新着情報へ  
2017年03月06日

**リターンの疑問にお答えします。**  
[編集する](#) [削除する](#)

こんにちは、筑波大学附属図書館クラウドファンディングプロジェクトチームです。  
皆様からのご支援、応援コメントに日々勇気づけられています。  
ありがとうございます！

さて、3月に入り、プロジェクトの残り日数もついに1ヶ月を切りました。  
そこで今回はご支援くださった方へのリターンについて、皆様からお寄せいただいた  
ご質問にお答えしたいと思います。

Q. 「新着図書コーナーへのご芳名の掲示」はどのくらいの期間ですか？  
A. 掲示期間は概ね1年間を予定しています。

Q. 「附属図書館の利用証」は一般の学外者利用証とは違うのですか？  
A. 一般の学外者利用証に比べて有効期限が長く、貸出冊数も多くなります。また、  
カードのデザインは本学芸術専門学群の学生が手がける予定です。

Next Goalの達成に向けて、引き続き皆様のご支援をいただければ幸いです。  
どうぞよろしくお願いたします。

**クラウドファンディングとは ▶**

39人がお気に入りしています

 **お気に入りに追加する**

お気に入りリストに追加され、新着情報を受け取れます

**【3,000円】筑波大学附属図書館の活動を応援する**

**¥3,000**

- 領収書
- 図書館から感謝の気持ちをこめてサンクスメールをお送りいたします。
- 附属図書館webサイトにご芳名を掲載いたします。(ご希望の方のみ)

 141人が寄附中／在庫制限無し

 2017年07月中に発送予定です。

**【10,000円】筑波大学附属図書館の活動を応援する**

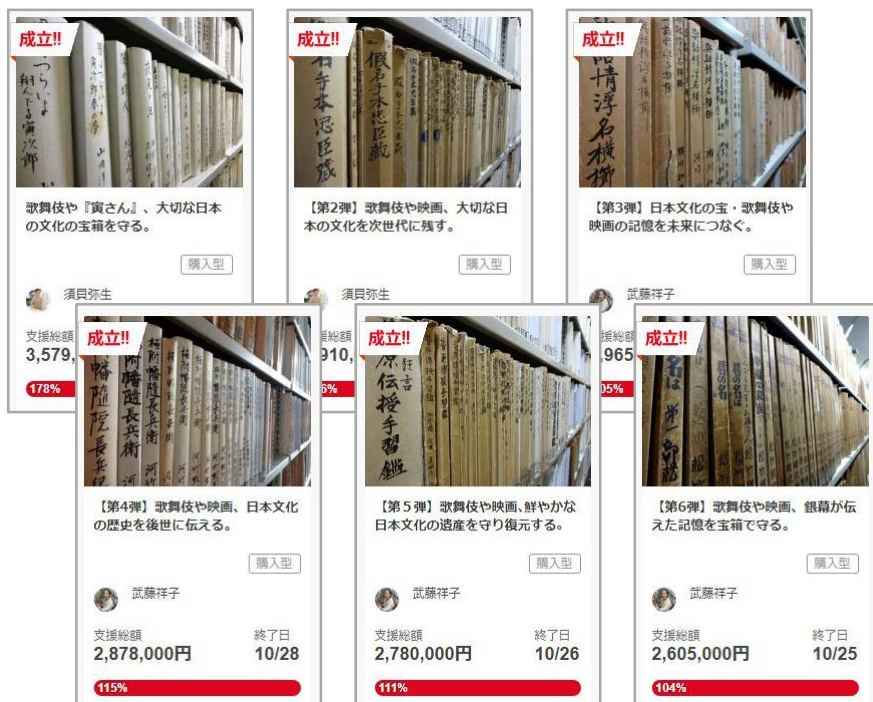
他の支援者にも共有してほしい情報は新着情報に掲載

# 支援者への配慮

## ③ 支援者との関係の構築（先行事例より）

松竹大谷図書館  
（過去に6回のプロジェクトが成立）

支援者の50～60%がリピーター



支援された時、達成した時、リターンの時、最低でも3回はお礼のやり取り

画一的なメッセージではなく、〇〇さんと呼びかけたり、一言アレンジを加えている

プロジェクトの進捗を頻繁に報告している

# 支援者への配慮

## ④ まとめ

### MUST

- 支援された時、達成した時、リターンの時、最低でも3回はお礼のやり取りを

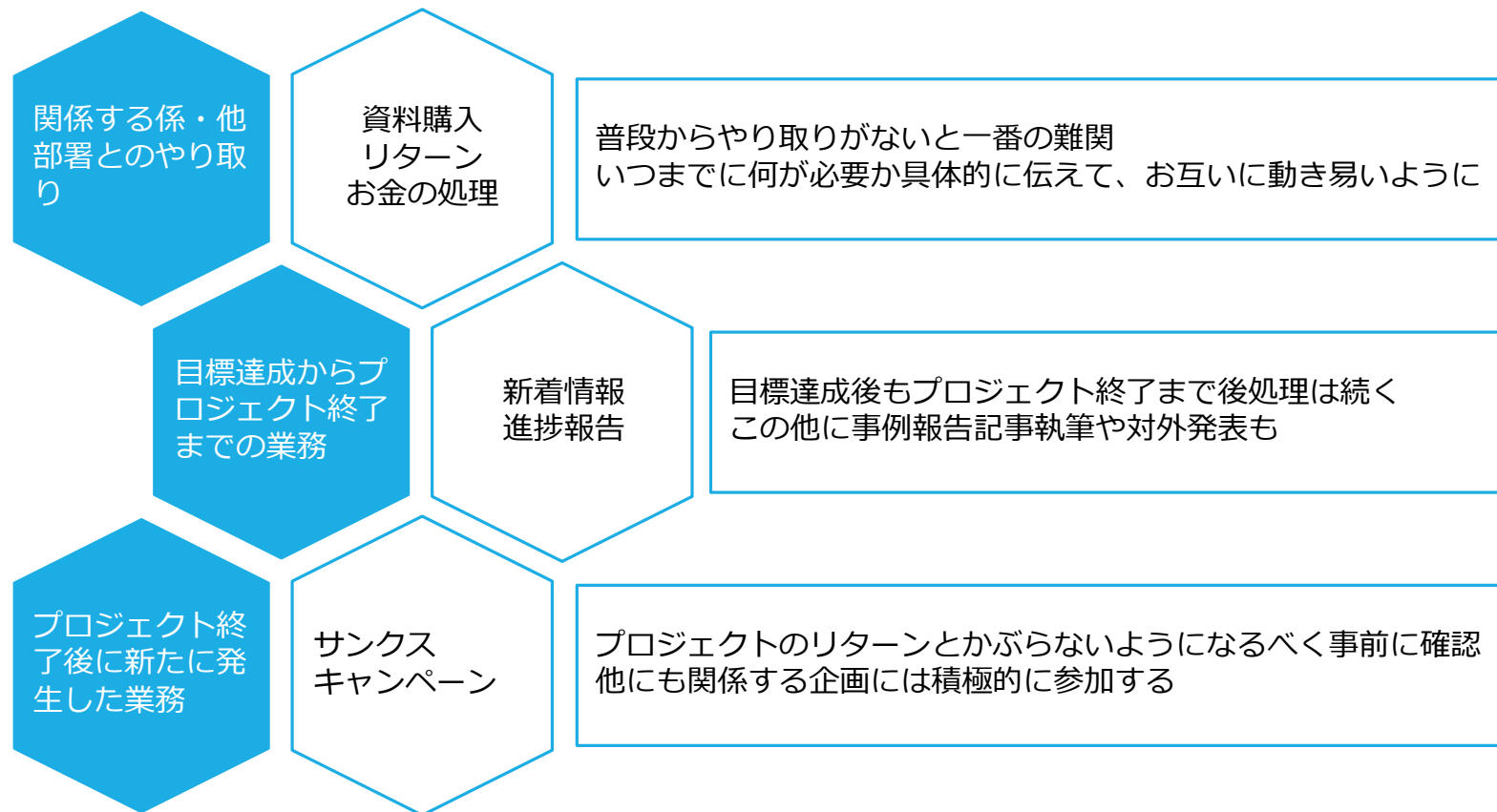
### BETTER

- 画一的なメッセージではなく、〇〇さんと呼びかけたり、一言アレンジを加えてみる

### OTHERS

- 支援者は一緒にプロジェクトを実行する仲間。注目し続けてもらえるよう継続して発信を

# その他に、取り組んでみて分かったこと



# 本日本話しする内容

クラウドファンディングとは何か

プロジェクトの全体像

取り組んでみて分かったこと

取り組みを通して得られたもの

# 取り組みを通して得られたもの

## ① 思い出、感謝のコメント

プロジェクトページで寄せられたコメントから

- 学生時代にお世話になったので、恩返しのために寄附します。
- よりよい図書館をつくってほしいです。
- 親子2代にわたってお世話になっています。
- 在学中は図書館の豊富な蔵書と充実した設備に大変助けられました。図書館は大学の研究・教育水準のバロメーターです。いまの学生たちの良い修学環境を守るため、がんばってください。



# 取り組みを通して得られたもの

## ② 驚き、憤りのコメント

プロジェクトページで寄せられたコメントから

- 大学図書館の資料に必要な予算をつけられないなんて、憤りを感ずます。
- 開架式のすばらしい図書館で、学術雑誌のコーナーも充実していたのに、それがいまはスカスカになっているとは驚きました。デジタルのものは便利ですが、読みたいものを探す、研究テーマを深めるなどの時には、やはり紙の図書や雑誌を見比べるプロセスが大事だと思います。

# 取り組みを通して得られたもの

## ③ Web上の評価的コメント

### その他Web上のコメントから

- このクラウドファンディングプロジェクトの成功により、大学の経営陣が「図書購入費は寄附金でまかなえるだろう」と考えて、予算削減の動きが加速しないことを願う。
- クラウドファンディングでは、長期的に資金を収集し続けるのは難しい。これでは根本的な問題解決にはならないだろう。
- 実際上のメリットよりも、社会に対して大学図書館の苦しい現状をアピールすることには成功している。

# 取り組みを通して得られたもの

## ④ 支援者・Web上のコメントから



大学図書館の現状に関心を持ってもらえたことが何よりの成果

これまでの取り組みがどう受け止められているのかを再認識する機会

支援者との関係をつなげていくことが今後の課題

# 取り組みを通して得られたもの

## ⑤ CFから生まれたつながり

継続的な支援者との出会い

他大学への波及

プロジェクトの意義に共感しました  
今後も毎年〇〇円、寄附します



CFプロジェクトをきっかけに、  
図書館に継続して寄附して下さることに

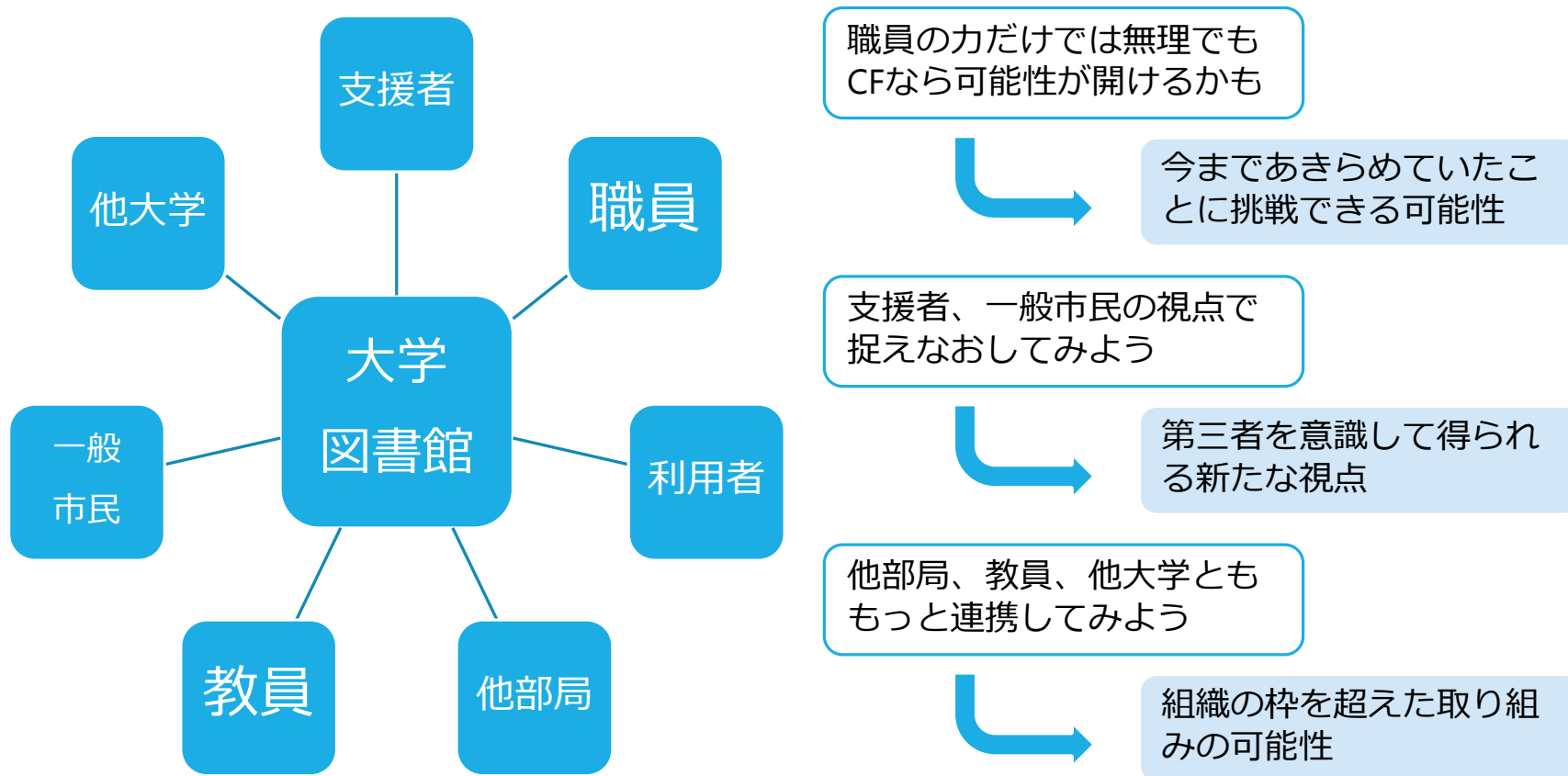
プロジェクトについて  
教えてください、発表してください



訪問調査や執筆・発表の依頼がたくさん  
その後、実際に実施した例も

# 取り組みを通して得られたもの

## ⑥ CFから広がる可能性



# 本日本話した内容

クラウドファンディングとは何か

プロジェクトの全体像

取り組んでみて分かったこと

- 実施体制
- テーマの設定
- 目標金額の設定
- 広報の展開
- リターンの設定と提供
- 支援者への配慮

取り組みを通して得られたもの



# これまでの対外報告

1. “クラウドファンディングプロジェクト 2017報告ページ（筑波大学附属図書館 web サイト内）”。

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/about/cf2017>

2. 松野渉. 特集 東京地域グループから広がる新しいつながり: 筑波大学附属図書館クラウドファンディング: あるプロジェクトチームメンバーが考えたこと. 大学の図書館. 2017-07, vol.36, no.7, p98-100.

<http://hdl.handle.net/2241/00148380>

3. 大和田康代, 石津朋之. 特集 図書館の話題アラカルト: クラウドファンディングによる資料費獲得への取り組み: 図書館員はクラウドファンディングの夢を見るか?. 図書館雑誌. 2017-08, vol.111, no.8, p502-503.

<http://hdl.handle.net/2241/00148379>

# これまでの対外報告

4. 松野渉. 筑波大学附属図書館におけるクラウドファンディングプロジェクト: READYFOR社との協働. リサーチ・アドミニストレーター協議会 第3次年次大会. 2017-08-29.

<http://hdl.handle.net/2241/00150560>

5. “資料費確保を目標に掲げたクラウドファンディングプロジェクトへの取り組み（文部科学省サイト内 大学図書館における先進的な取組の実践例（Web版）平成29年度）”.

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kaihatu/jouhou/1400575.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jouhou/1400575.htm)

※ 本発表中の画像は**READYFOR(株)**の許諾を得て使用しています。

<https://readyfor.jp/>